

## 2023年9月 全国百貨店売上高概況

2023年10月24日

### I. 概況

1. 売上高総額	4, 151 億円余
2. 前年同月比（増減率）	9.2%（店舗数調整後／19か月連続プラス）
3. 調査対象百貨店	72社 180店（2023年8月対比2社増1店減）
4. 総店舗面積	4,676,490㎡（前年同月比：-4.1%）
5. 総従業員数	51,242人（前年同月比：-6.7%）
6. 3か月移動平均値 （店舗数調整後）	2-4月 12.4%、3-5月 8.3%、4-6月 7.3%、 5-7月 7.4%、6-8月 9.0%、7-9月 9.8%

〔参考〕2022年9月の売上高増減率は20.2%（店舗数調整後）

#### 【特徴】

9月の売上高は9.2%増、入店客数10.0%増と、共に19か月連続のプラスとなった。残暑が厳しい中でも、外出機会の増加などから身のまわり品や衣料品、高付加価値商材が牽引した。加えてインバウンドが売上を底上げした他、外商催事や会員向け施策、物産展などのイベント効果も見られた。コロナ前との比較では、2019年比は消費増税前の駆け込み需要の反動から16.7%減であったものの、2018年比では2.1%増と、業績回復が進んでいる。

顧客別では、インバウンドが円安効果などから、前月より11.2ポイントアップの255.6%増（18か月連続/シェア7.9%）、売上高326億円とコロナ禍の2020年2月以降、最高額を更新し、調査開始（2014年10月）以来、過去3番目に高い数値となった。コロナ前の2019年比でも29.3%増と高伸した。国内市場は3.1%増（19か月連続/シェア92.1%）だが、2019年比では消費増税前の駆け込み需要の反動で19.1%減であった。

地区別では、インバウンドと高額品が好調な都市（10都市/24か月連続）が8地区で前年実績をクリアし、12.0%増と二桁伸びを示した。この内、大阪地区は、前年の台風による時短営業等の反動に加え、プロ野球の優勝セールも活況で、27.1%増と大幅に伸長した。地方（10都市以外の7地区）も4地区でプラスし、0.2%増と3か月連続で前年実績を確保した。

商品別では、主要5品目のうち4品目で前年実績を超え、身のまわり品と雑貨は2018年比もクリアした。ラグジュアリーブランドを中心に増勢が続く高額品は、一部アイテムで価格改定前の駆け込みも見られた。化粧品はスキンケアやメイクアイテムなどが動き、国内外共に好調を維持した。衣料品は繊維物やブラウス、カットソーなど秋物軽衣料に動きが見られた。食料品はマイナスに転じたが、彼岸など歳時記やインバウンド需要で菓子が引き続き好調だった。

#### 【要因】

- (1) 天候：気象庁発表「9月の天候」の特徴は以下のとおり（一部抜粋）  
◇気温は全国的にかなり高く、東・西日本では記録的に高かった。降水量は前線や低気圧の影響を受けにくかったため、西日本太平洋側ではかなり少なく、日照時間は東・西日本太平洋側で多かった。
- (2) 営業日数増減 29.9日（前年同月比 +0.2日）
- (3) 土・日・祝日の合計 10日（ ” ±0.0日）
- (4) 入店客数増減（回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数106店舗）  
①増加した：71店、②変化なし：18店、③減少した：17店
- (5) 9月歳時記（敬老の日、彼岸）の売上（同上/有効回答数73店舗）  
①増加した：17店、②変化なし：50店、③減少した：6店

# 全国百貨店 売上高速報 2023年9月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ( )が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>全 国</b>	<b>415,115,603</b>	<b>100.0</b>	<b>9.2 ( 8.9)</b>
<b>10都市</b>	<b>321,995,928</b>	<b>77.6</b>	<b>12.0</b>
札幌	11,290,975	2.7	5.1
仙台	5,015,052	1.2	-3.5
東京	126,550,169	30.5	6.4
横浜	24,715,543	6.0	3.4
名古屋	29,323,913	7.1	13.7
京都	18,857,686	4.5	15.6
大阪	71,749,124	17.3	27.1
神戸	10,662,265	2.6	12.4
広島	6,147,356	1.5	-6.4
福岡	17,683,845	4.3	26.6
<b>10都市以外の地区</b>	<b>93,119,675</b>	<b>22.4</b>	<b>0.2 ( -0.9)</b>
東北	3,638,670	0.9	-9.8
関東	41,428,747	10.0	-2.8 ( -4.1)
中部	6,895,257	1.7	-1.3
近畿	14,072,192	3.4	5.8
中国	7,634,130	1.8	1.6
四国	4,841,873	1.2	5.8
九州	14,608,806	3.5	5.0

注) 2023年2月より、北海道の1店舗を地区区分10都市の札幌に合算しております。

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>総 額</b>	<b>415,115,603</b>	<b>100.0</b>	<b>9.2 ( 8.9)</b>
紳士服・洋品	20,157,899	4.9	5.5 ( 5.3)
婦人服・洋品	78,397,886	18.9	13.1 ( 12.9)
子供服・洋品	5,741,590	1.4	-3.2 ( -3.4)
その他衣料品	6,062,953	1.5	-4.2 ( -4.5)
<b>衣 料 品</b>	<b>110,360,328</b>	<b>26.6</b>	<b>9.6 ( 9.4)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>72,015,208</b>	<b>17.3</b>	<b>21.3 ( 20.8)</b>
化粧品	37,800,829	9.1	13.5 ( 13.2)
美術・宝飾・貴金属	43,172,089	10.4	12.0 ( 12.0)
その他雑貨	12,515,657	3.0	4.8 ( 4.6)
<b>雑 貨</b>	<b>93,488,575</b>	<b>22.5</b>	<b>11.6 ( 11.4)</b>
家具	4,007,519	1.0	-1.9 ( -2.2)
家電	1,092,446	0.3	10.9 ( 10.9)
その他家庭用品	9,388,931	2.3	1.6 ( 1.4)
<b>家庭用品</b>	<b>14,488,896</b>	<b>3.5</b>	<b>1.3 ( 1.0)</b>
生鮮食品	17,113,498	4.1	0.3 ( -0.0)
菓子	28,420,304	6.8	0.5 ( 0.3)
惣菜	26,012,383	6.3	-1.5 ( -1.7)
その他食料品	28,856,778	7.0	-0.7 ( -1.2)
<b>食 料 品</b>	<b>100,402,963</b>	<b>24.2</b>	<b>-0.4 ( -0.7)</b>
食堂 喫茶	10,347,459	2.5	16.3 ( 16.3)
サービス	3,958,728	1.0	2.9 ( 2.9)
<b>そ の 他</b>	<b>10,053,446</b>	<b>2.4</b>	<b>16.9 ( 16.2)</b>
<b>商 品 券</b>	<b>4,725,634</b>	<b>1.1</b>	<b>-6.6 ( -6.8)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

## Ⅱ. 地区別の動き

1. 10都市売上動向	12.0% (24か月連続プラス)
2. 10都市以外の地区売上動向	0.2% (店舗数調整後/3か月連続プラス)

### 【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
<b>10都市</b>	<b>12.0</b>	<b>9.1</b>	<b>24か月連続プラス</b>
札幌	5.1	0.1	19か月連続プラス
仙台	-3.5	-0.0	3か月ぶりマイナス
東京	6.4	2.0	25か月連続プラス
横浜	3.4	0.2	4か月連続プラス
名古屋	13.7	0.9	24か月連続プラス
京都	15.6	0.7	24か月連続プラス
大阪	27.1	4.0	24か月連続プラス
神戸	12.4	0.3	19か月連続プラス
広島	-6.4	-0.1	4か月ぶりマイナス
福岡	26.6	1.0	24か月連続プラス
<b>10都市以外の地区</b>	<b>0.2</b>	<b>0.0</b>	<b>3か月連続プラス</b>
東北	-9.8	-0.1	2か月ぶりマイナス*
関東	-2.8	-0.3	3か月ぶりマイナス
中部	-1.3	-0.0	2か月ぶりマイナス
近畿	5.8	0.2	3か月連続プラス
中国	1.6	0.0	3か月連続プラス*
四国	5.8	0.1	3か月連続プラス
九州	5.0	0.2	3か月連続プラス

(注1) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

(注2) 2023年2月より、北海道の1店舗を地区区分10都市の札幌に合算した。

### Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は食料品を除く4品目でプラスとなり、身のまわり品、雑貨は二桁増となった。その他の品目は、婦人服・洋品、化粧品が19か月連続、菓子が25か月連続でプラスとなったが、子供服・洋品が4か月ぶり、惣菜が25か月ぶりにマイナスとなった。

#### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>9.2</b>	<b>—</b>	<b>19か月連続プラス</b>
紳士服・洋品	5.5	0.3	10か月連続プラス
婦人服・洋品	13.1	2.4	19か月連続プラス
子供服・洋品	-3.2	-0.1	4か月ぶりマイナス
その他衣料品	-4.2	-0.1	5か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	<b>9.6</b>	<b>2.5</b>	<b>19か月連続プラス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>21.3</b>	<b>3.3</b>	<b>24か月連続プラス</b>
化粧品	13.5	1.2	19か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	12.0	1.2	32か月連続プラス*
その他雑貨	4.8	0.2	18か月連続プラス*
<b>雑貨</b>	<b>11.6</b>	<b>2.6</b>	<b>24か月連続プラス</b>
家具	-1.9	-0.0	3か月ぶりマイナス
家電	10.9	0.0	12か月連続プラス
その他家庭用品	1.6	0.0	3か月連続プラス
<b>家庭用品</b>	<b>1.3</b>	<b>0.0</b>	<b>3か月連続プラス</b>
生鮮食品	0.3	0.0	3か月連続プラス*
菓子	0.5	0.0	25か月連続プラス*
惣菜	-1.5	-0.1	25か月ぶりマイナス*
その他食料品	-0.7	-0.1	2か月ぶりマイナス*
<b>食料品</b>	<b>-0.4</b>	<b>-0.1</b>	<b>14か月ぶりマイナス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>16.3</b>	<b>0.4</b>	<b>19か月連続プラス</b>
<b>サービス</b>	<b>2.9</b>	<b>0.0</b>	<b>3か月ぶりプラス</b>
<b>その他</b>	<b>16.9</b>	<b>0.4</b>	<b>18か月連続プラス</b>
<b>商品券</b>	<b>-6.6</b>	<b>-0.1</b>	<b>7か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・長柴 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>